

【北見市高齢者相談支援センター南部 平成 27 年度第1回地域ケアネットワーク会議参加報告】

日 時:平成 27 年6月 17 日(火)18 時 30 分～20 時 30 分

場 所:北見市民会館 1号室

1. 情勢報告

「介護保険料 5,825 円の意味 ～北見市第6期介護保険事業計画が描く北見市の展望～」

北見市保健福祉部地域包括ケア推進担当 主幹 長尾 智美

2. グループワーク

「北見市の現状と展望から、身近にできることを考えよう～自助・互助・共助・公助の視点から～」



今回、認知症疾患医療センターとして標記の会議に参加して参りました。80 名位の関係者が参加する中、はじめに、北見市の介護保険事業計画について報告を受け、さらに、北見市の介護保険料が、道内の市では旭川市について2番に高額なのは、施設・住居系のサービスが充実しているからであるということがわかりました。

施設・住居系のサービスが充実していると報告を受けましたが、北見市の地域支援にも多くの課題があるということで、一市民として(参加者は関係者が多いわけですが)身近な、自助、互助について課題を出し、取り組みについても検討するというグループワークを行いました。

全体発表では、どこのグループも自助の部分では、課題としては「運動に参加しない人、運動が出来ない人」にどう参加してもらうか、実現に向けては「社協のサロンの活用など」が上げられていました。互助の部分では、課題としては「町内会での声かけ」、取り組みとしては、私の参加したグループでは「上ところの見守り隊の取り組み」が上げられていました。

関係機関として参加した中で、一市民という立場で考えることは新鮮であり、より身近なものとして地域包括ケアを考えるスタートが出来たと思います。今後、共助・公助についても検討を進め、さらに7つの包括ごとに実施されることで、北見市の地域包括ケアが見えてくるのではと思いました。

林 記